

わだち

2015年 11月発行

vol.23



社会福祉法人

恩賜
財団

済生会奈良病院

広報誌

『わだち(轍)』とは車を通ったあとに残る両輪の跡。地域の皆さまと両輪となってこれからも確かな跡を残していきたい、との思いから名付けました。

題字 西田 隆浩（看護師）

〔理 念〕

心ある医療を実践し、地域の医療・福祉に貢献する

〔基本方針〕

- ① 私たちは、地域医療機関との連携を密にし、住民の健康を守るべく努力します。
- ② 私たちは、医学の進歩を学び、常に医療の安全と質の向上をめざします。
- ③ 私たちは、済生会人としての誇りと自覚を持ち、親切で思いやりのある医療をめざします。
- ④ 私たちは優れた人材を育成し、働きがいのある職場をめざします。



【表紙写真・患者様撮影】

INDEX (目次)

- p.2 ドクターの声
- p.3 地域連携の泉（大橋耳鼻咽喉科 さくら診療所）
- p.4 医療の現場から
- p.5 掲示板

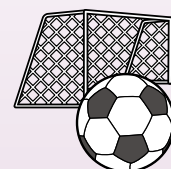
『サッカー戦術のお話』

スペインリーグのバルセロナというサッカーチームを知っていますか。トータルフットボール、簡単に言うと中盤でボールを奪って全員参加のパス回しでゴールに向かうという戦術で世界を席巻します。この戦術には超絶技巧が必要なため、メッシ、イニエスタなど名選手がこれを可能にするのですが、半面弱点は守備で、圧勝はするのに負けるときは簡単に負けてしまうという脆さがありました。

一方、ドイツリーグのドルトムントというサッカーチームがあります。1990年代以降長い間低迷しますが、2010～2013年に2連覇とカップ戦制覇と大躍進します。お金がないので若手と無名の選手を集めて育て、速さと強さを鍛えます。そのうえで、簡単に言うと、球際で相手に競り負けずボールを奪い、空いたスペースへボールを運んだら、相手に走り負けずに追い付いて、ゴールに迫るという戦術で強いチームになりました。超絶技巧はそれほど必要なく、逆に香川真司君は名選手に育ってビッグチームに移籍することになります。現代サッカーはドルトムントのサッカーが主流になると言う人がいます。戦術を決めて、監督が舵取りをして、選手が戦術を理解して実行する。戦術をさらに高みに導くのはチーム全体の仕事なのでコーチ陣、トレーナー、栄養士、グラウンドキーパーも必要不可欠です。

2015年秋に英国で大金星をあげたラグビー日本代表チームもきっと同じだと思います。ラグビー弱小国であった日本がワールドカップで3勝したことに感動しましたが、きっと戦術が素晴らしくて、監督がうまく舵取りをして、選手が理解と実行をしたのです。選手の奥さん達、メンタルトレーナーまでテレビに出ていました。日本のサッカーもラグビーもさらに強くなって欲しいですが、強くなるために必要なものは、おおかたどこの世界にも通じるものだとも思いました。

〈内科部長 寺本 正治〉





地域連携の泉

登録医療機関さまのご紹介①⑥

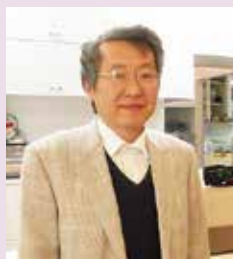
医療法人 明盛会 大橋耳鼻咽喉科

- 住 所 奈良市三条本町 1-85
- 連 絡 先 TEL 0742-35-6860
- 診療科目 耳鼻咽喉科 気管食道科 アレルギー科
- 専門分野 耳鼻咽喉科一般
- 可能な検査 聴力 めまい レントゲン 頸部エコー
- 診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:30~12:45	○	○	休	○	○	○
午後 4:00~ 7:30	○	○	○	○	○	※

※土曜日は午前9:30~午後1:00まで

- 休 診 日曜日 祝日 水曜日午前 土曜日午後
- 処 方 箋 院外
- 在宅往診 応相談 ●駐車場 6台



院長 大橋 一博 先生

今日は。大橋耳鼻咽喉科は平成3年の開業以来、20年以上にわたって奈良の地で地域に根ざした診療を行って参りました。平成22年には大宮町から三条本町に移転し、耳鼻咽喉科疾患全般の診療にあたっております。特に、秋から6月にかけては、感冒、インフルエンザ、花粉症、学校健診など、乳幼児から高齢者まで幅広く、大勢の方が受診されます。これからも、済生会病院と病診連携を深め、スタッフ一同、誠心誠意、地域医療の向上に全力を尽くす所存です。



医療法人 岡谷会 さくら診療所

- 住 所 奈良市南京終町 1-183-25
- 連 絡 先 TEL 0742-50-1600
- 診療科目 内科 眼科
- 専門分野 内科(糖尿病、高血圧、脂質異常症等の慢性疾患)、眼科(慢性疾患管理の一分野としての眼科疾患、白内障、糖尿病性網膜症)
- 可能な検査 心電図、検尿、血糖、ヘモグロビンA1c、眼圧、視野検査、光凝固
- 診療時間

診療時間	月	火	水	木	金
午前 8:30~12:00	内科	○	○	○	○
	眼科	○	休	休	○
午後 2:00~ 4:00※	内科	○	○	○	○
	眼科		休		
夜診 5:00~ 7:30	内科	○			
	眼科				

※火曜日午後1:30~

- 休 診 土曜日 日曜日 祝日
- 処 方 箋 院外
- 在宅往診 なし
- 駐 車 場 おかたに病院駐車場をご利用ください



所長 宮城 恭子 先生

さくら診療所は、おかたに病院とタイアップし20年間糖尿病その他慢性疾患の管理と眼科診療を担ってきました。慢性疾患の啓蒙と全身管理・生涯管理のお手伝いが主な仕事です。親切で良い医療、地域の人々と共に歩む診療所を目指し、高血圧・糖尿病・脂質異常症・禁煙・物忘れ・癌などの診療に励んでいます。併設のメディカルフィットネスとクッキングラボも利用頂ければ幸いです。



緩和ケアにおけるリハビリテーション ―QOL向上にむけて―

緩和ケアはホスピスとして 1981 年に病院で設立されたのが最初です。それから 25 年、介護保険の特定疾病として“末期がん”が 2006 年 4 月から認められ、以後少しずつサポート体制がとられるようになりました。以前は緩和ケアというと終末期のイメージでしたが、生涯 2 人に 1 人ががんにかかると言われるなか、現在は「診断・治療期から緩和ケアの提供を」として厚労省も重点的に取り組むべき課題としています。

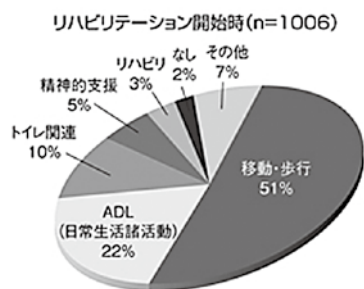
そんな中、リハビリテーション部では一般・回復期とは別に「緩和ケアが主体」となる患者様に「緩和リハビリ」を行っています。医師、病棟、薬剤部、地域連携室と共にチーム体制で取り組んでいます。リハビリの役割は、ADL を維持、改善することによりできる限り可能な最高の QOL を実現することです。それぞれの病期の段階や症状、また一番大切な患者様の要望を大切にしながら進めています。

具体的にはまず ADL・基本動作・歩行の安全性の確立、廃用による筋力低下および関節拘縮の維持・改善、リンパドレナージや生活指導による浮腫の改善、摂食・嚥下面のアプローチ、さらにポジショニングやリラクゼーションによる疼痛緩和、呼吸苦の緩和です。また、心理的支持として気分転換の屋外散歩や日常会話、アクティビティーも取り入れています。

なんら一般のリハビリと変わりないところですが、厳しい状態で入院されてもリハビリでのルーティンな活動によって心身の安定や日常の穏やかな感覚を取り戻し、小康状態となり地域包括ケアに移行される方もおられます。

様々ではありますが、「リハビリを行うと痛みが楽になる、動作が楽にできるようになる、安心する」といった心身ともに充実感・満足感を少しでも感じて頂けるように、今後も患者様、家族様に寄り添い向き合いながら、貴重な時間を共有させて頂いている事を胸に日々努めてまいります。

〈作業療法士 平野 貴子〉



■緩和ケアに入った患者さんがリハビリテーションに求めること

参考：がんサポート <http://gansupport.jp/>

患者サポート 患者を支える

看護部ホームページリニューアル

患者さんや、済生会奈良病院で働きたいという看護師の方に看護部の活動をもっと知ってもらいたいと考え、7月に看護部のホームページをリニューアルしました。あるアンケートによると、半数以上の方がスマートフォンでホームページをご覧になられているという結果が出ておりました。そこで、スマートフォン、パソコンどちらでアクセスしても見やすいホームページになるように変更いたしました。

今後も、看護部の活動を掲載していきます。時折ご覧いただければ幸いです。





糖尿病教室

	開催日	時間	講義内容	講義担当
第1回	11月21日(土) 小会議室	10:00～10:30	糖尿病ってどんな病気？ ～糖尿病について絵や図を用いてわかりやすくお話しします～	内科医師
		10:30～11:00	わかりやすい糖尿病検査	検査技師
第2回	12月5日(土) 小会議室	10:00～10:30	糖尿病の怖い合併症、眼の合併症 ～ビデオでわかりやすく説明します～	眼科医師
		10:30～11:00	食品の80キロカロリーってどれ位？	管理栄養士
第3回	1月21日(木) 小会議室	15:00～15:30	糖尿病の怖い合併症、神経障害 ～しびれはないですか、あなたの足は大丈夫ですか～	神経内科医師
		15:30～16:00	あなたに役立つ日常生活のポイント ～フットケアの実践～	看護師
第4回	2月20日(土) 小会議室	10:00～10:30	糖尿病の運動療法 ～糖尿病とうまく付き合う～	理学療法士
		10:30～11:00	これだけは知ってほしい、糖尿病の薬のお話② ～特にインシュリンを中心に～	薬剤師

※都合により日程・開催場所は変更になる可能性があります。

【申し込み先】 当院各科受付窓口(0742-36-1881)までお申し込みください。

市民公開講座 大腸 CT 検査 開催報告

7月18日(土)に当院におきまして、鎌田 喜代志 手術科部長による市民公開講座を「続 新しい内視鏡を使わない大腸 CT 検査」をテーマに開催しました。59名の方々にご参加いただきました。

大腸がん、大腸がん検診、大腸 CT 検査について3つのテーマに基づいた講演となりました。大腸がんの年齢別罹患率や死亡率、大腸がんは定期的な検診が非常に有効であること、大腸 CT 検査の歴史や検査の流れ、大腸 CT の精度や費用等をスライドを用いて分かりやすい話となりました。

平成27年7月1日より日本睡眠学会の「睡眠医療認定医療機関」に認定されました。日本睡眠学会 睡眠医療 認定医1名、認定技師2名が勤務しております。



大安寺西地区ふれあい夏まつり (大安寺西小学校)に参加しました

8月8日(土)に地域活動の一環として、大安寺西地区ふれあい夏まつりに今年も参加させていただきました。大会本部からの要請に基づき、看護師が救護班として参加いたしました。模擬店では輪投げとジュース販売、無料握力測定チャレンジを行い、大変好評でした。

また、会場の設営などのお手伝いをさせていただきました。準備の際に、突風で模擬店が吹き飛ばされたり、雷雨が襲うなどのハプニングがありましたが、無事に開催することができました。(模擬店の売り上げは必要経費を差し引いた残金を日本赤十字社に寄付させていただきました。)

今後も地域に貢献できるよう、努力していく所存です。



今月の投書から



◎ご意見

CT検査時の件で CT検査中、体に異常があればスイッチを押して下さいと渡されたスイッチ。このスイッチは押す部分が本体とほぼ平面で、目で見ただけでは分かりやすいが、両手を頭上に上げた時点で押し部が分かりづらくなりました。押し部に点字テープ等を貼るなどして、指先だけでも分かるようにしてはどうですか。

◎回答

検査時には、ご不便をお掛けして申し訳ございませんでした。警告ブザースイッチ押し部の形状は、少し盛り上がっており、確認しやすいと思っておりました。ご意見を頂き早速、押し部にザラ付テープを貼り指先確認しやすく致しました。この度は、貴重なご意見ありがとうございました。これからも患者様が安心して受けられる検査をめざします。ご協力ありがとうございました。

展示作品募集

当院では患者様への「癒し」をテーマに、院内の各場所に絵画や写真等を展示させていただいております。現在も患者様や地域の方々の作品を多く展示させていただいております。展示させていただける作品がございましたら、最寄りのスタッフにお声掛けいただくか、お電話やメールにて総務課までご一報ください。

皆さまのご意見をお聞かせください

皆さまから済生会奈良病院に対するたくさんのお声をいただき、誌面に掲載していきたいと思っております。ご意見やご要望等がございましたら、下記まで宜しくお願い致します。また、表紙に掲載させていただく写真も募集致しております。添付ファイルにて下記のメールアドレスまでお送りください。

〒630-8145 奈良市八条4丁目643番地

社会福祉法人 恩賜財団 済生会奈良病院「わだち」係

e-mail wadachi@saiseikai-nara-hp.jp



社会福祉法人 恩賜財団 済生会奈良病院

〒630-8145 奈良市八条4丁目643番地

TEL 0742-36-1881

FAX 0742-36-1880

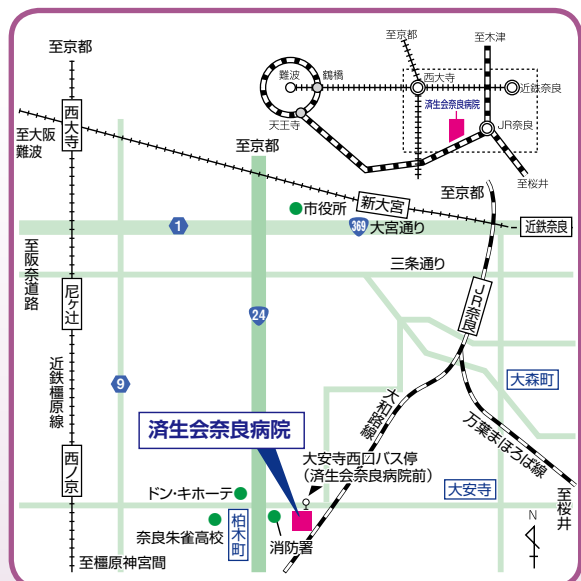
<http://www.saiseikai-nara-hp.jp/>

e-mail:wadachi@saiseikai-nara-hp.jp

■診療科目

内科・神経内科・外科・整形外科・小児科・
婦人科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・
放射線科・麻酔科・リハビリテーション科

編集・発行 医療情報公表委員会



①近鉄奈良駅前より恋の窪町行大安寺西口バス停下車すぐ

②県庁前発・近鉄奈良駅前よりJR奈良駅経由済生会奈良病院行
または県立図書館情報館行